

令和2(2020)年6月1日

一般社団法人医療のTQM推進協議会

施設会員 代表者 各位

個人会員 各位

一般社団法人医療のTQM推進協議会

理事長 安藤 廣美

第22回フォーラム【医療の改善活動】全国大会 in 大阪 開催延期について

時下、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、一般社団法人医療のTQM推進協議会の運営の上に、物心両面より多大のご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

2020年11月20日～21日に、大阪府堺市のフェニーチェ堺において、第22回フォーラム【医療の改善活動】全国大会 in 大阪を、社会医療法人生長会理事長亀山雅男先生を大会長として開催する予定で、鋭意準備を進めてまいりました。しかし、昨今のCOVID-19の感染拡大の状況に鑑み、開催を延期せざるを得なくなり、5月31日開催の一般社団法人医療のTQM推進協議会の2020年度第2回臨時理事会で決定しましたので、報告いたします。残念ではありますが、ご理解、ご了承いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

延期に至った理由としては、

- ①COVID-19の感染拡大については、5月25日に全国的な緊急事態宣言が解除されましたが、今後も第2波、第3波の感染拡大を危惧する専門家会議等の意見もあり、「三密」状態になる可能性のある大規模な集会は、年内は避けた方が望ましい。
- ②協議会施設会員の中には、COVID-19感染防止の最前線で診療にあたっている病院も多く、その他の病院・施設でも、何らかの形で感染防止活動に関与しておられ、院内での改善活動の推進が停滞（院内大会開催延期など）し、全国大会参加に向けた準備が進められないとの情報が寄せられています。
- ③全国大会へは毎年1,000名近い病院・施設関係者が参加しますが、今回はCOVID-19感染拡大の影響を受け、参加者が激減する事態が考えられます。また、協賛金・寄付金・広告料等についても例年のようには順調に集まらず、この状況は、11月までに改善される保証がなく、開催した場合、経営収支的には大きくバランスを欠くことが想定されます。

の3点が示され、理事会全員一致で決定されました。

なお、第22回フォーラムは1年間スライドし、2021年11月に、社会医療法人生長会の理事長亀山雅男先生を大会長に、大阪府堺市のフェニーチェ堺において開催する予定です。

さて、今回の延期決定は、協議会会員の皆さんが既に実感され、実際に対応されているCOVID-19のパンデミック化に伴い、医療界のみならず産業界を始め、社会全体の機能が停滞している事態に伴う、避けることの出来ないものです。自己を守り、家族を守り、患者や社会を守るために私たちは現在、見えない敵であるウイルスとの戦いを続けています。

古来より、ヒトは Pneuma（精気）を吸って生きていると考え、更に病気の一因として空気中の spore（芽胞）の存在を疑っていました。それが、顕微鏡の発達に伴ってルイ・パスツールやロベルト・コッホによって細菌が発見され、さらにドミトリー・イワノフスキーによってウイルスの存在が明らかにされて来ました。

COVID-19 に対する日本の取り組みの現状を「QC ストーリー」で示してみましよう。

1. **テーマ選定**：「COVID-19 を制御する」
2. **現状把握Ⅰ（敵を知る）**：ウイルスは核酸とこれに付随するタンパク（カプシド）からなるヌクレオカプシド構造を持つ非生物体である。特に今回のコロナウイルスはエンヴェロープという膜構造を有しておりカプシドと合わせたビリオン構造を持っている。遺伝情報（ゲノム）として RNA を持ち、天然痘ウイルスの様に安定した DNA ではないため変異しやすい。一旦宿主細胞内に侵入すると宿主細胞の核と付属構造を利用して核酸とカプシドを量産して増殖して行く。
3. **現状把握Ⅱ（己との関係を知る）**：前述するようにウイルスは非生物である。彼ら自身が飛んできて侵入するわけではない。感染した媒介生物により経皮的、飛沫・接触により経口、経鼻的に侵入する。宿主の免疫反応を過剰に起こす場合があり（サイトカインストーム）、重篤化しやすい。
4. **要因分析・対策立案**：多くのウイルス対策のスペシャリストが協力して**要因分析**し、ワクチン、抗ウイルス剤の開発と並行して、我が国では三密（密閉・密集・密接）を回避するという**方針（課題）**が提示されました。
5. **対策実行**：全国民がこれを基に**方針展開**することを通して、各階層での対策実行が可能となりつつあります。
6. **効果判定**：経時的データを収集し、全国民が共有することで更に PDCA サイクルを回し、より正しい行動に結び付け、劇的な**課題達成**に向かっています。これは世界的にも驚くべき成果だと受け止められているようです。

以上のような令和 2（2020）年度の幕開けでしたが、COVID-19 に対する感染拡大の防止に成果は上げつつも、多くの産業活動は停滞し、病院も感染対策に全精力を傾けた結果、日常の改善活動に支障を来しています。

それらの状況を把握し、理事会で審議した結果、第 22 回フォーラム【医療の改善活動】全国大会を延期することを決定しました。今年 1 年間、会員施設で取り組んだ「COVID-19 に関する QC ストーリー」の情報を収集、分析して、新生第 22 回フォーラムのシンポジウムで皆さんと議論し、共有したいと考えています。COVID-19 に関するアンケート類がシンポジウム担当者から送付されると思いますが、ご協力をよろしくお願いいたします。

まだまだ、COVID-19 との戦いは続きます。会員各位におかれましては、これまで培ってきた改善の力量を遺憾なく発揮し、来年のフォーラムに元気に笑顔で参加し、報告していただきますよう、よろしくお願いいたします。

以上